

授業科目	内部障害理学療法評価学	2 学年・後期・1 単位 (15 時間)	
		理学	必修

科目担当責任者	岩本えりか (保健医療学研究棟 E403 号) e-mail : e.iwamoto@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	片寄正樹、根木亨、井平光、(菅野敦哉)、(宮城島沙織)、(清藤恭孝)、(阿部真佐美)		
概要	身体運動を遂行するためには、呼吸循環機能による酸素運搬系と二酸化炭素排出系の円滑かつ総合的な働きが必要となる。本科目においては、これらの基礎を学び、呼吸器疾患や心血管疾患、代謝障害の理学療法におけるモニタリングの内容や必要性について学習する。また、胸部レントゲン写真や冠動脈造影、CT、MRI 等の画像所見についても学び、各種モニタリング指標との関連性についても理解を深める。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 呼吸・循環・代謝のメカニズムを簡潔に説明することができる。 2. 運動時の呼吸調節を理解し、呼吸関連指標を説明することができる。 3. 運動時の循環調節を理解し、循環関連指標を説明することができる。 4. 運動時の代謝調節を理解し、代謝関連指標を説明することができる。 5. 関連指標を解釈し、病態や症候について簡潔に説明することができる。 		
関連科目	内科学1・内科学2・内部障害理学療法学・内部障害理学療法学演習		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	筆記試験	50%	
	実技試験	50%	
教科書	①増田卓(編) [2020年・6,380円] 「循環器理学療法の理論と技術 第2版」 メジカルビュー社 ②本間生夫(監) [2014年・5,720円] 「呼吸リハビリテーションの理論と技術 第2版」 メジカルビュー社		
参考書	①古谷伸之(編) [2007年・6,600円] 「診察と手技がみえる vol.1 第2版」 メディックメディア社 ②岡田隆夫(監訳) [2011年・8,360円] 「心臓・循環の生理学」 メディカル・サイエンス・インターナショナル		
履修上の留意点			

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	循環1: 心血管機能1・バイタルサイン測定	事前: 教科書該当部分の抄読 事後: 講義・配付資料の復習	講義・演習	片寄・根木
2	循環2: 心血管機能2	事前: 教科書該当部分の抄読 事後: 講義・配付資料の復習	〃	根木
3	循環3: 運動機能・ADL/QOL	事前: 教科書該当部分の抄読 事後: 講義・配付資料の復習	〃	〃
4	呼吸1: 呼吸機能1・バイタルサイン測定	事前: 教科書該当部分の抄読 事後: 講義・配付資料の復習	〃	岩本
5	呼吸2: 呼吸機能2	事前: 教科書該当部分の抄読 事後: 講義・配付資料の復習	〃	〃
6	呼吸3: 運動機能・ADL/QOL	事前: 教科書該当部分の抄読 事後: 講義・配付資料の復習	〃	〃
7	代謝: 腎機能・代謝機能	事前: 教科書該当部分の抄読 事後: 講義・配付資料の復習	〃	〃
8	がん	事前: 教科書該当部分の抄読 事後: 講義・配付資料の復習	〃	井平・(菅野)・(宮城)

				島) ・(清藤)・ (阿部)
--	--	--	--	----------------------